

最新ロボット技術など体験

九州工業大情報工学部は、高校生に最新のロボット技術などを体験してもらう「ひらめきときめき サイエンス」を飯塚市川津の飯塚キャンパスで開く。7月28日と8月4日、同18日の3日間で、計6プログラムがある。受講料は無料で、参加者を募集している。

高校生の科学への理解や関心を高めてもらうと、日本学術振興会(東京)が全国の大学に助成し、各大学が高校生向けのプログラムを企画。同大では、各日二つのプログラムを実施する。7月28日は「コンピュテーショナルへの誘い―コンピュータによる計算の意味―」(平田耕一教授)と「唇の動きを解析!

講座参加の高校生を募集

九工大情報工学部、7月と8月に

読唇できる?」(斎藤剛史教授)▽8月4日は「ロボット技術から学ぶ人間の不思議―人の感覚を探る―」(林英治教授)と「コンピュータで感染症の薬を探そう!」(青木俊介教授)▽8月18日は「生物の創るナノ世界探訪―コンピュータと顕微鏡を組み合わせた新しい自然観察―」(安永卓生教授)と「改善って何?―同じミスをしないようにするための具体的な方法とは―」(片峯恵一准教授)。

いずれも午前10時〜午後4時。定員15人。複数応募できるが、同日開催のプログラムは選べない。定員になり次第締め切り。同大広報室0948(29)7509。(山本諒)